



# お元気ですか!

## 志村 たかよし です

### 第2回定例会

### 加藤博司議員

### 憲法・アベノミクス・福祉・築地市場問題など質問

今年の第2回定例会は、都議選（23日投開票）直後の6月24日～7月3日の会期で開催されました。

加藤博司議員が日本共産党を代表して質問に立ち、参議院選挙の争点ともなっている憲法、経済政策、社会保障問題とともに築地市場「移転」問題などで区長の政治姿勢を追及しました。



区長を追及する加藤博司議員＝6月27日

### 憲法問題で区長を追及

加藤議員は、都議選を通じて「憲法を守れ」の声が区民の間に日増しに大きくなってきたことを紹介しつつ、自民党の改憲の動きなどについて質問しました。

区長は「日本国憲法が基本権利として定める平和主義、国民主権、基本的人権は、いかなることがあっても守られるべきもの」と答弁しました。

しかし、加藤区議が「九条二項『国の交戦権は、これを認めない』を取り払うことは、日本をふたたび『戦争できる国』に作り替えることではないか」と質問したことに対して、区長は「憲法九条と国の安全保障については様々な議論、解釈がある」「海外で戦争したい人はいないのではないか。いたら

### 加藤議員の質問の柱

- ① 憲法九条と九六条をめぐ  
る動きについて
- ② アベノミクスについて
- ③ 消費税増税と社会保障改  
悪について
- ④ 国民健康保険料について
- ⑤ 生活保護について
- ⑥ 「子ども・子育て支援制度」  
について
- ⑦ 築地市場「移転」について

紹介してほしい」などと答弁し、質問にまともに答える姿勢を示しませんでした。

加藤区議は、イラクへの自衛隊派兵の時、憲法九条があるため、自衛隊員は武器を使用することができなかった。憲法九条を変えれば歯止めがなくなり、海外で戦争できることになると、区長の姿勢を厳しく批判しました。

## 区長、「アベノミクス」を評価

加藤議員は、安倍政権の経済政策（アベノミクス）の「3本の矢」（金融緩和・財政出動・成長戦略）を次のように批判し、区長の見解を尋ねました。

### 「第一の矢：金融緩和」

「バブル促進型」の金融政策であり、実体経済の回復を伴わず賃金は上がらないために、圧倒的多数の国民の暮らしは苦しくなるばかりになる。

### 「第二の矢：財政出動」

基本は借金を元手にしたもので、軍事費や大型公共事業への自民党型バラマキの復活だけが目立ち、財政破たんをいつそう深刻にさせる。

### 「第三の矢：成長戦略」

解雇しやすい「限定正社員」の導入や「金さえ払えば解雇できる」という仕組みなどが盛り込まれ、

「日本を世界で一番企業が活動しやすい国にする」もの。

さらに、加藤議員は「『3本の矢』には、国民の所得を増やす『矢』は1本もなく、国民にとっては『3本の毒矢』ではないか」と区長に迫りました。

区長は「消費意欲が高まり、明るい兆しが見えつつある。経済再生の政策が国民に受け入れられている」「財政出動は切れ目のない経済対策を実行することが目的」「成長戦略は民間投資を喚起し、持続的な成長を目指すもの」などと評価し、加藤議員が示した「毒矢」にたいする具体的な見解を示しませんでした。

## 区長、「解雇自由化」を理解

また、「限定社員制度」の導入について、区長は「成長産業への再就職の促進を図ることが目的で

ある」と解雇自由化の動きに理解を示しました。

## 区長の「デフレ不況」認識にズレ

加藤議員は「デフレ不況」におちいったことについて「働く人の平均給与が97年のピーク時から年間約70万円も減っているように、長期にわたって国民の所得が減り続けていることにこそ最大の要因がある」「景気を良くするためには、内需を拡大することが必要」と示し区長の見解を求めました。

区長は「デフレ不況の原因は、人口の減少や過度な円高などの要因がある」と答弁、内需拡大の必要性の認識の薄さを示しました。

## 区長、内部留保で大企業を擁護

加藤議員は「260兆円の内部留保をため込んでいる大企業が、その1%を従業員の賃金に使えば

8割の大企業で月給を1万円増やすことができる。大企業が従業員の賃上げや下請け単価を上げるなど、社会的責任を果たすことによって内需拡大への道が開ける」と曰る、区長は「企業の内部留保の活用については企業の経営判断にかかわるもの」と大企業を擁護するような答弁をしました。

### 「地域防災フェア」三会場の日程

7月21日→28日 変更となりました

- 中央小学校
- 城東小学校
- 常盤小学校

参議院選挙の投票日が7月21日となりましたので、左記の会場の日程が28日にそれぞれ変更となりました。